

【分配金のお知らせ】

2017年6月29日

野村アセットマネジメント株式会社

2017年6月28日決算の分配金について**「先進国普通社債ファンド(為替ヘッジあり)2016-08」****愛称:メジャー・ボンド**

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「先進国普通社債ファンド(為替ヘッジあり)2016-08<愛称:メジャー・ボンド>」(以下、ファンドといいます。)の2017年6月28日の決算の分配金についてご案内いたします。

前回決算(2016年12月28日)では分配金を5円といたしましたが、基準価額やインカムゲインの水準などを総合的に勘案し、今回の決算では20円といたしました。

ファンドの基準価額は、2016年11月の米大統領選後、米国国債利回りが大きく上昇(債券価格は下落)したことを受け、軟調に推移しました。しかしその後、米国国債利回りが概ね横ばいで推移する中、クレジットスプレッド(利回り格差)が好調な企業業績と安定した資源価格を背景に縮小基調を続けたこと等から債券価格が上昇し、基準価額は上昇基調となりました。

分配金額と基準価額は下表の通りです。設定来の基準価額の推移については次ページをご参照ください。

【分配金】 (1万口当たり、課税前)

	先進国普通社債ファンド (為替ヘッジあり)2016-08
分配金額	20円
(前回決算:2016年12月28日)	(5円)
決算日の基準価額	10,142円
決算日の基準価額(分配金再投資)	10,167円
(前回決算:2016年12月28日)	(9,923円)
分配金額設定来累計	25円

* 基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものととして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —

【分配の方針】

原則、毎年6月および12月の28日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

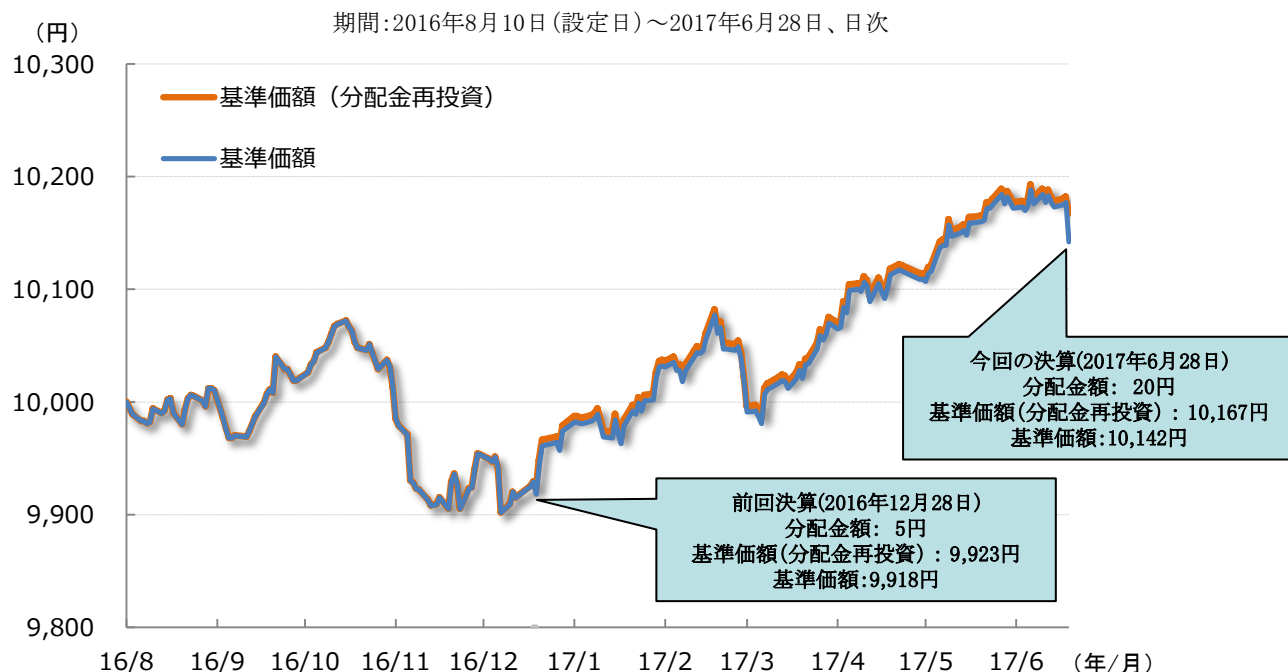
分配金額は、分配対象額の範囲内で、利子・配当等収益等の水準および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

* ファンドは単位型投信であり、分配金に対する課税は、原則として、分配時の分配金の全額が対象となります。

* 分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものです。事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に投資します(また、外貨建資産に投資しますので他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。

【設定来の基準価額の推移】



* 基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

—上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。—

【今後の見通しについて】

米国金利については、引き続きFRB(米連邦準備制度理事会)が利上げを継続すると見込まれることから高めの水準が想定されますが、経済指標の改善が緩やかであることから中長期債の金利上昇のペースは緩やかに推移するものと見込んでいます。クレジットスプレッドについては、引き続き好調な企業業績とトランプ政権による政策効果への期待感がサポートになることから安定的な推移を見込んでいます。為替ヘッジコストについては、当面は利上げとともに現行水準から緩やかに上昇して推移すると見えています。

ファンドでは、保有する普通社債のインカム収入を享受しながら信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なっております。

今後とも「先進国普通社債ファンド(為替ヘッジあり)2016-08」<愛称:メジャー・ボンド>をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

「分配金に関する留意点」

- ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- 計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。